

産学官連携講演会

福島再生可能エネルギー研究所 カーボンニュートラルを目指して

2024年12月3日(火) 13:30～(16:00頃終了予定)
京都大学 吉田本部キャンパス 総合研究11号館215室



古谷 博秀 所長
カーボンニュートラルを目指した
福島再生可能エネルギー研究所の取り組み

地球温暖化を食い止めるため、世界各国が期限付きのカーボンニュートラル宣言をしている。ここでは、カーボンニュートラルにおける再エネと水素の役割と、産総研福島再生可能エネルギー研究所（FREIA）におけるカーボンニュートラル化を目指した研究開発の状況を紹介する。



小島 宏一 主任研究員
再エネ電力による
水電解水素製造と水素燃焼に関する研究

FREIAでは再生可能エネルギー由来の電力を有効に活用するために水素を製造、貯蔵、利用する研究を行っている。その中から、水電解装置の劣化や耐久性評価、発生した水素から水素キャリア（メチルシクロヘキサン）を合成するプロセス、水素の燃焼に関する研究について紹介する。

終了後は講師参加の
座談会も開催します

参加登録はこちら

※京都大学に所属する学生及び教職員限定



<https://u.kyoto-u.jp/zwowj>

写真提供：京都大学



京都大学大学院 エネルギー科学研究科
国際先端エネルギー科学研究教育センター



京都大学
KYOTO UNIVERSITY